

(別紙5)

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 27-1-084
補助事業名 平成27年度 検診車の整備 補助事業
補助事業者名 一般財団法人 北陸予防医学協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

富山県は高齢化の進展によりがん死亡率が全国値よりも高い傾向にあります。特に胃がんの死亡率が顕著に高く、がん予防対策が重要課題となっています。県内の巡回検診体制では検診の高精度化が求められており、旧型検診車からデジタル検診車への転換が推し進められています。今回のデジタル胃部X線検診車の整備により、胃がん検診の量的拡大を図り、地域のがん検診受診率の向上を目指します。また、デジタル機器の有用性により、検診の質を高める事を目指します。車輻は、聴覚障害者向け情報提供支援システムを装備し、また、高齢者の昇降時の安全性高めた仕様にする事で、より多くの方に安心して検診を受けていただくことを目指します。

(2) 実施内容

胃部X線デジタル検診車

(<https://www.hokurikuyobou.or.jp/news/detail.cgi?id=0047>)

<https://www.hokurikuyobou.or.jp/>

車両の外観（側面）



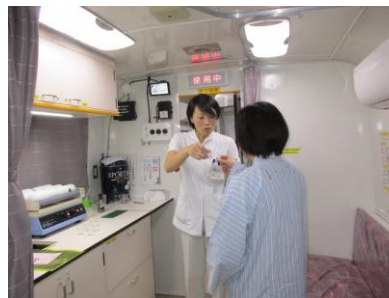
操作室（操作装置）



撮影室（寝台装置）



待合室



搭載機器

聴覚障害者向け情報提供支援システム（メインモニター）



大型モニターに案内が絵と文字で
写し出されます。

6カ国語での表示が可能で、日本
語以外での検診ができます。

安全性を高めた昇降口



検診時には車高が下がり段差が
少ない昇降口

広い待合



7～8人が乗れる待合室

2 予想される事業実施効果

巡回検診体制が強化され、がん検診を安定的に提供できる事で受診者数の増加がみこまれます。また、最新機器の導入による精度の向上が見込まれます。

(別紙5)

3 印刷物等

広報誌『ヘルス・ビュー』No. 84

メンタルヘルス最新動向セミナー 第2弾
—— ストレスチェック対策セミナー ——

平成28年3月17日に、高岡総合健診センターにて、ストレスチェック対策セミナーを開催しました。

前半は、さくらまちハートケアクリニック院長 荒井秀樹先生を迎え、「診療室から見える産業現場事例」と題してご講演いただき、後半では、参加者の皆様と意見交換を実施しました。



参加者の皆様からは、「各企業の取り組みが参考になった」「参加者同士の意見交換が良かった」等のご感想をいただきました。



今春から、最新の胃部X線検診車が 県内で稼働します

RINGIRINGI 株式会社 KEIRIN

平成27年度の競輪の補助を受けて、最新の胃部X線デジタル検診車を整備しました。3月より生活習慣病検診や、胃がん検診で、皆様の事業所に出かけております。よろしく申し上げます。



車両外観(某工場にて)



操作室内の様子

https://www.hokurikuyobou.or.jp/data/file/contents/file2_0047.pdf

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人北陸予防医学協会（ホクリクヨボウイガクキョウカイ）

住所： 〒930-0177

富山県富山市西二俣277-3

代表者： 理事長 永田 義邦（ナガタ ヨシクニ）

担当部署： 総務部 総務人事課

担当者名： 狩野 宏子（カリノヒロコ）

電話番号： 076-436-1257

F A X： 076-436-1240

E-mail： h-karino@hokurikuyobou.or.jp

U R L： <http://www.hokurikuyobou.or.jp>